

隠神 媚婢

いぬがみしょうぶ

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

いぬがみしょうふ 隠神娼婦

隠神刑部に囚われの身になっちゃった……。

囚われた理由はこの男……イエヤスのために神具を創造をする……

強引な交渉……そしてその男から放たれる邪悪なオーラ……私の作る神具を悪用されることを恐れ

魂獣界最高位の神具職人として知られている、私マーヤはある日

創造することを私は断った

しかし、それがこれから私の身に起こる地獄の日々の始まりだった

私は自由を奪われ
どこかに監禁されてしまった

しかし私は自分の作った
神具を悪用されるぐらいならば
このまま殺されてしまったほうが
良かったのかもしれない……。

音を上げるまで
解放しないつもりだろう

どれくらい時間がたったか分からない……
あるとき、私の前に一人の男が訪ねてきた。

はま

はま

はま

はま

はま

ギ
ン

ギ
ン

ギ
ン

マーヤ殿、あなたは我々
隠神刑部に対して
協力的でないことが
よくわかりました。

こうなったら
我々と同じ
隠神刑部にでもなって
いただきますよう。

…っ?!

しかし助かりましたよ。
神具職人がこのような健康的な女性で。
隠神刑部の数が減っている今
子供を産んでもらう女性は多いほうがいいです
からね…クハハハハハハハハハハハ

ひいっ

属性侵食はそんなに
時間はかかりませんが

この肉体を更にいやらしく改造するのは
非常に興奮しますね……!!

すっ

すっ

ビュッ

キュッ

この男…
まさかそんなコトが可能だというの?!

なっ…っ?!

一体何を……

いやあっ



うう...

いやあ、よく
お似合いになっていきますよ
マィヤ殿♡

んぶ...ぶ...?!

やめてっ
そんなのイヤ...ツ

しかしなんといういやらしい肉つき...
もしや九尾のほうでもたくさんの
男を食べてきたのでは?

んっ...?!

それではさっそく...
今からどれだけ堕ちてしまうか
楽しみで仕方ありません
クハハハハハハ...!!

んんん...?!

だれか助けて...!!



ほう...
なかなかいい反応で...

んっ...

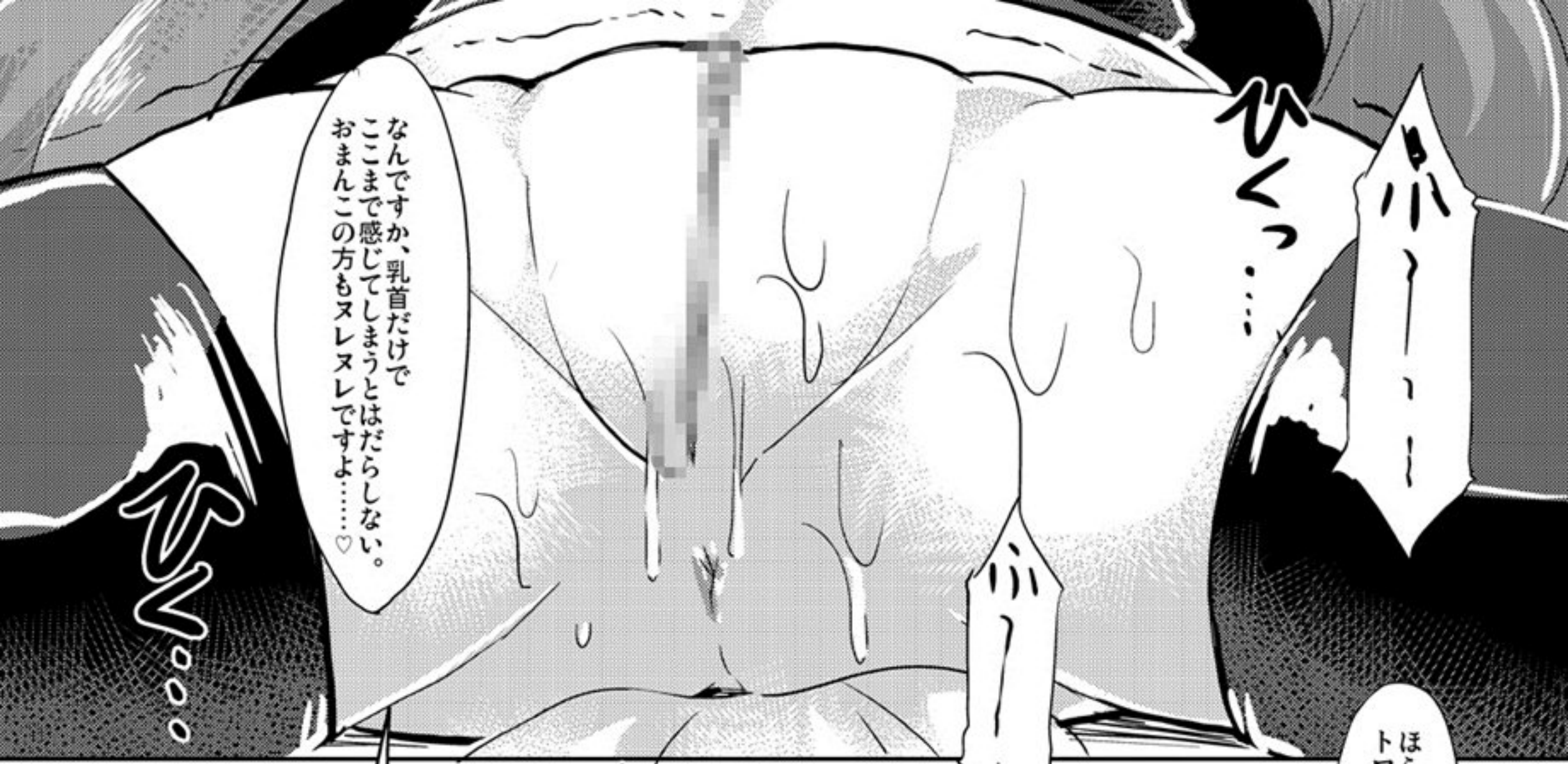
まずはこの乳房の感度から
確かめてみましょう

硬さ、長さとなかなか優秀ですね。
このままでも
男たちは十分喜ぶでしょう。



んおっ
おおおおお...
お...お...!!

しかし、更に肥大させて
乳首だけでも絶頂するように
感度を上げましょうか



なんですか、乳首だけでここまで感じてしまうとはだらしがない。おまんこの方もヌレヌレですよ……♡

ひゅっ……

ほら、内側までトロトロじゃないですか。



ぽんぽん♡

やめ……て……広げないで……

どろろ……

おや？ コレはおもしろい……!!

見てください立派なクリトリスがひとりで皮から飛び出してきましたよ♡
なんていやらしい、クハハハハハ……



それではふさわしい肉体へと
生まれ変わる器具を取り付けましょう。

その感度の高い乳首とクリトリスから
集中して開発して行きましょう♡

大丈夫ですよマーヤ殿。
はじめは痛いかもしれませんが
すぐに慣れますからね……!!

んん……?!

んん……?!

ピク

ピク

ピク

ピク



まずは吸引……

そして振動……

ギョギョ……



それではスイッチオン♡

ト……



ドンドンと出力を強くして行きましようかね

先端ブラッシング……♡



乳首こねあげ……



まだまだありますよ



キラキラ



クハハハそんな効きますか。のた打ち回るほど悦んでしまうなんて♡

乳首が壊れちゃうう……?!



まっまっ♡

まっまっ♡

ガッ

さて、そろそろ
乳首だけじゃ切ないでしょう？

ふ……ふ……?!

んん……!!!
んぐ……!!

いやらしい声を聞かせてくれたお礼に
暫くイキっぱなしになってくださいね
クハハハハハハ……

吸い上げられたまま
放置されたクリトリスが真っ赤に
充血してますからね♡

ひっ……今……
やられたら……
こわ……れ……

ガク

ガク

グググ

グググ

グググ

グググ



それでは生まれ変わるまで
楽しみにしていますよ
マリーヤ殿♡

絶頂を迎えたあと、数日の間そのおぞましい器具は私の乳首、クリトリスに取り付けられたままだった。

それからどれくらいの間がたったのかは分からないが再びあの男が現れた。

食事中も……
排泄中も……

私はその止まらない刺激に頭の中までかき回されてしまいそうだった。

あなたを快楽に溺れさせたその玩具ともお別れですよ。

あう……
あうう……♡

ごきげんいかがですか
マ―ヤ殿、そろそろ良い感じに
改造が進んだかと思ひましてね。



まずは乳首から...

ほほう、ここまで肥大化しましたか。
なんとという無様な姿なんでしょうね♡

い...?

う...う...そ...
あ...あたしの...
ちく...び...

はる...

たが

はる

これではブラも着けられるか
わかりませんね...クハハハハ!!!

さて、クリトリスはどのような
変化が起こったでしょう。

はる

はる

はる

ピクッ

クハハハツ
これは立派に成長なさいましたね。
あまりに立派で笑ってしまいますよ…♡

ひいっ…
ひいっ…
お…

見てください、
この肥大したクリトリス。
ぶるんぶるんとしてますよ♡

こんな無様な体ではもう
里には帰れない…

普通の生活も送れない…

大きさだけでなく感度も
数倍になったんじゃないでしょうか

おっ？
おっ？
おめ…おっ？

チュ
チュ
チュ



おやおや、
もうイッてしまったんですか。

いっ...いっ...
イッてなんかあ...

クリトリスでイきました
から...とめ...て...!!

さあ今日は次のステップに行きますよ。



いっ...
まし... た...!!

私は正直な意見を
聞いているのですよ

その前に……

あなたにはもう拘束は必要無いですからね。
サーベリスにマーヤ殿の肥大された部分に
アクセサリをつけておきましたよ♡

?!

拘束が……

さーて、いよいよ
属性侵食を受けて頂きます。

これを受けたものは
隠神刑部になり、元の種族には
戻ることはできません。
その方法ですが……

?!



え...

マミーヤ殿、あなたの子宮に
精液をありったけ注ぎこむ...
たったそれだけです。



その割には下のだらしない口は
ペニスを見ただけでよだれを
垂らしっぱなしですよ？
全く下品ですね...

まあ無理もないです。
マミーヤ殿は数日間、乳首とクリトリスだけ
刺激されて、マンコには何もしてませんからね。

そして、
マミーヤ殿のカラダは極限まで焦らされて
ペニスなしでは満足できない
カラダになったのです.....くく

クハハハハハハハハハハハ!!!



やめて...やめて...

おや、嫌ですか。

いやっ

いや...っ

ブル...ブル...

.....っ?!



おち……ん

お……

さあ待ちに待ったものを
差し上げあげましょうかね。

ぎっ



ごきごき

ガッ

みぎ……

ガッ

おちんぼ挿入ってきた……
だけなの……にいつ♡



……

頭がトロトロになっちゃうよお

みぎ……

……



ガッ



そんなに欲しかったんですか
すっかり堕ちてしまわれて…

では存分に堪能してくださいねっ

ああーっ
き…き…たあ♡

おちんぽっ
おちんぽお♡



さあ、我慢すること
ないんですよ。
存分に鳴いてください。

むにゅ

ちんぽ♡

もっ とちんぽおー♡

チンポ♡

勃起したおっぱいクリちゃん
突かれるたびジンジンして...
あひい い い いー♡

おま...おまんこが
きもちいい♡きもちいい♡
きもちいいよおおー♡

くっ、なんとという刺激。
もう出てしまってます...!!

おおおお♡
奥までチンポがああー♡

あっ
あっ

ガク

ガク





クンクン

クンクン

クンクン

あたまのなかとけちゃうううー♡♡♡

ふう...これであなたも
我々の仲間入りですよ♡

さて次は
私の性処理をしてもらいますかね。
一発だけでは物足りませんから。

クンクン

クンクン

クンクン

クンクン

クンクン

クンクン

それから穴という穴を犯され
精液を注がれた…
何度も 何度も



では
最後の仕上げに入りますかね。



ふう……
だいぶハッスルしましたよ。
マ―ヤ殿は肉便器の才能も
持ち合わせていそうですね……♡

コチラにとっても忘れていたただかないと
後々面倒なことになりますからね……。
特にイエヤス様には知られたくは
ありませんので……



これが終われば
今まで行った
ツライことなども全
て忘れられますよ……



絶叫を聞きたいところですが
あまりに叫べれると
迷惑なので再び口を
塞がせてもらいましたよ。

こんな全身に電気を
流されたら死んじゃう…!!

これは…まさか
電気…?!

安心してください。
死ぬほどの電気は
流さないようにしておきますよ

まあ…
色々忘れてもらうために
少々激しくはなりますけどね♡

次に目覚めた時には体に染み付いた
快楽のみが残るでしょう。
それでは…クハハハハハ!!



記憶が戻った今でも
そこから先のことは覚えていない。
覚えていたのは止まらない電流と
落ちていく感覚だけだった。



肉体改造、属性侵食を受けた私は
自由になったが……

はい
みなさんこんにちわー♡

あたしとキモチイイコト
しませんか？

お、おい……

ザワ

なんだあれ……

ザワ……

お代はー……
ちんぽみるくてーす♡
たくさんくれただけサービスしますよー♡

体が求める性欲には逆らえず
毎日のように男にちんぽを
求めていた……。

おはよう

な、何だコイツ。痴女か？

こんな真昼間から…

しかもなんだあの尋常じゃない乳首とクリトリス…

このクリちゃん乳首は、私のチャームポイントです♡
触っただけで私イッチやいます♡

くっ…
ヤバイ勃起してきた。
お代は先に払うから処理してくれよ♡

ギンギンちんぽさん苦しそう♡
私が今ピュッピュッしてあげますからねえ♡
ざーめんはやくだしてくださあい♡

お、おれも…!!

おおお♡
おちんぽきたあ♡
ちんぽ♡ちんぽ♡

何だコイツ、チンコ出した途端に釘付けになってやがる…。
どんだけ淫乱なんだよ…。

れろん

お♡

お♡

ムムム…♡ ムムム♡

ムムムムムム♡

うおお、出る…♡
精液が全部吸われるうう♡

そろそろマンコにも
注ぎ込んでやろうぜ♡

口だけじゃ満足できないって
こんなにとろとろだぜこいつ♡

オラッ
ココに欲しかったんだろ淫乱女!!
奥までしっかり啜えろよ!!

おおおおおー♡
まんこにちんぽきたあー♡
そのまま、そのままザーメンザーメン
ぶちまけてエエ♡♡♡

ビュッ

ビュッ

ビュッ

そんなに精液飲んで
子供孕んじまっても知らないぞ…!!

完全にこいつ精液中毒になってんな。
どんな調教受けたんだこいつ…

ふああい♡
はらませてえ♡
おまんこも、くちまんこもけつまんこも
ぜんぶぜんぶはらませてえ♡

皆さんのくっさいザーメンで
私のことドロドロにして
孕ませてくださいねえ♡

まあいいか、タダマンだし
ぶっ壊れるまでめんどろみでやるよ♡

ありがとっござとていまあす♡

おまんこ♡

ルルル♡

トオオ♡

ドクドク♡

ビュビュ♡

ビュビュ♡

おまんこ♡

おまんこ♡

おまんこ♡

おまんこ♡

今日は楽しかったよマーヤ
また明日もよろしく頼むよ。

肉便器マーヤに
おしっこサービスありがとう
ございまあす♡

肉便器らしく
シヨンペンサービスしてやる♡

じょぼぼ

じょぼぼぼ

あはっ♡
ザーメン体中にもらって
エロいラクガキたくさんされちゃって
しあわせえ……えへ……えへへ♡

頭の中にもまで精液が
染みこむ感覚に悦んでいた

私は隠神刑部の男たちの
肉便器として生活をしていた



そして私は
子供を授かってしまった。

えへへ♡
早く産んでおまんこにちんぽ欲しいなあ♡

マアヤ、だいぶ大きくなってきたね。
もうすぐ生まれるんじゃないか？

あれは九尾の
神具職人の…一体何故…？

このとき孕んだ子供…
そしてマガツさんとの出会いが
この先大変なことになるとは
思いもしなかったのです。

おまけ

本編中にメルトくんとの絡みが描けなかったので、ラストのページで描きました。マニヤさんとメルトくんの親子丼はエロエロなのでもっとかきたいっす。





奥付

発行日 コミックマーケットC82(2012/08/12)
著者 発行者 リリスラウダ
サークル名 リリスラウダ研究所
連絡先 ririslauda@hotmail.com
twitter lithla



隠神
姫姫

いぬがみしょうふ

